

「東商デパート」がきょう開店 正月用品も並ぶ生徒たちの店

日ごろの学習の成果を券
揮しよと、生徒らが中心
となって運営する「第四回
東商デパート」写真が
十五日、岡山市東山三丁目
の岡山東商業高校（千二百
十四人、藤田哲輔校長）で
開かれる。衣料品店やパン
屋など、クラス単位の二十
八店舗が並ぶ予定。午前九
時四十五分からオーブリン
グセリモニーをして、同十
時に開店、午後二時半に閉
店する。

生徒たちは店長をはじめ
め、営業課や経理課、サー
ビス課などを担当。商品仕
入れでは、実際の企業や店
と数量や値段を交渉。広告
の出し方なども体験してき

た。値段は市価の一割か
ら二割ほど安く、利益はほ
とんど出そうにないとい
ろ。

正月前とあって、海産物
やもちを売る店のほか、生
徒会が生徒や教師などから
集めた古本を販売し、売り
上げをAMDA（アジア医
師連絡協議会）に寄付す
る。県内の福祉施設で作ら
れた備前焼や小物、廃油せ
っけんなどを販売する「福
祉の店」もある。

また、邑久郡邑久町のハ



ンセン病療養所「長島養生」約六十人を招き、生徒と交
「と」邑久光明園」から
流する。